

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
207	私立幼稚園就園奨励 事業	教育総務課	私立幼稚園に対する助成及び保護者の経済的負担を軽減し、私立幼稚園における教育環境の向上を促進した。	私立幼稚園就園奨励 費補助金交付者 3,800人	314,372	5	5	4	4	4	22	保護者の負担を軽減するため、継続して実施していく必要があるため。		継続
208	小・中学校保護者負担 軽減事業	教育施設課	教材教具購入に係る保護者の負担軽減を図り、教育の機会均等の確保と水準の維持向上を図るとともに、特色ある学校運営を推進した。 児童・生徒対象者数 18,917人	児童・生徒 対象者数 18,917人	63,128	4	4	3	4	4	19	保護者の負担を軽減するため、継続して実施していく必要があるため。		継続
209	校舎・体育館改修事業	教育施設課	屋上防水・トイレ等の施設改修工事等を実施し、安全かつ快適な学習環境を確保した。 整備工事棟数 5棟 設計 2棟	整備棟数 7校	174,279	5	4	4	4	3	20	教育施設を良好に維持管理し、児童・生徒に安全かつ快適な教育環境を提供するため、継続して実施する必要がある。		継続
210	体育施設整備事業	教育施設課	老朽化が目立つプール(清水小)の改修等を実施し、快適な学習環境を確保した。	整備校数 1校	112,316	4	4	3	4	3	18	体育施設(学校プール)を良好に維持管理し、児童・生徒に安全かつ快適な学習環境を確保するとともに、災害時における水源確保を図るため継続して実施する必要がある。		継続
211	体育館補強事業費	教育施設課	健全で安全かつ快適な学習環境を確保するため、体育館の耐震補強を実施し災害に強い安全な施設の整備促進を図った。	整備校数 3校	411,906	5	5	4	5	3	22	児童・生徒の安全と災害時の避難場所としての機能確保を図るため実施してきた体育館の耐震補強が19年度で完了したため。		完了
212	特別教室冷暖房設備 設置事業	教育施設課	小学校図書室に冷暖房設備を設置し、児童が読書を楽しみながら、学習意欲を向上させることができる学習環境の整備を図った。	整備校数 12校	64,695	4	4	3	4	4	19	予定していた全小・中学校の図書室への冷暖房設備の整備が完了したため。		完了
213	小学校1年生35人学 級実施事業	教職員課	小学校1年生について、35人以下の学級編成制にすることにより、きめ細かな指導を展開し、児童が円滑に学校生活に適應することができた。 派遣教員数 9人	35人学級実施率 100%	12,382	5	4	3	5	4	21	きめ細かい教育の推進のため、保護者等の期待や現場教師からの要望もあり、継続して実施していく必要があるため。		継続
214	学校給食施設整備事 業	保健給食課	清水・三田・小鮎小学校に単独給食調理場を整備した。(累計12校開設) 給食センターの老朽化及び国が定めた「学校給食衛生管理の基準」に対応することができた。	整備校数 3校	866,715	5	4	3	4	4	20	単独調理法式の小学校全校整備に向け、着実に整備促進を図っていく必要があるため。		継続
215	中学校給食施設整備 事業	保健給食課	人間形成に大きな関わりを持つ中学生の時期に、人間性豊かな生徒の育成を目指す学校教育の一環としての完全給食の実施に向け、各中学校の特別教室や昇降口を改修し配膳室を整備するとともに、必要物品の購入により中学校での円滑な運営の実施を目的とする。	整備校数 13校	141,395	5	5	3	4	4	21	完全給食実施に伴う各中学校の配膳室整備と必要物品の購入が完了したため。		完了
216	南部学校給食センター 整備事業	保健給食課	老朽化した設備の改修や調理器具の交換等を実施し、安心・安全な学校給食を安定的に提供することができた。 1日の調理実数 6,400食	1日の調理実数 6,400食	7,245	4	3	3	4	3	17	老朽化した設備の改修や調理器具の交換等が完了したため。		完了
217	北部学校給食センター リニューアル整備事業	保健給食課	近年のライフスタイルの変化に伴い、子どもたちの食生活への影響が問題となっている中、望ましい食習慣を身に付け、豊かな人間形成を培うため、中学校給食のために北部学校給食センターを活用することを目的として、衛生管理をより充実させた施設としてリニューアルした。	整備校数 13校	233,309	5	5	3	4	4	21	中学校給食のために、衛生管理をより充実させた施設としてリニューアルが完了したため。		完了

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
218	学校保健事業	保健給食課	学校医等の確保、健康診断の実施、学校薬剤師による環境衛生管理、学校事故見舞金の支給、医療費等の援助などを行ったことにより、児童生徒の健康保持増進、学校における保健管理・安全管理が図られた。	就学時健康診断 受診数  2,084人	65,381	5	4	3	4	5	21	学校保健法等の法令に準拠した児童生徒の健康管理を推進するため、継続して実施する必要があるため。		継続
219	郷土資料館活動推進事業	文化財課	郷土資料館収蔵資料の展示公開、各種講座の開催などを行い、厚木市の歴史、民俗、自然を紹介し、郷土への愛着を深めた。 来館者数 7,212人	郷土資料館 来館者数  7,212人	5,658	4	4	3	4	5	20	事業の企画運営の充実やPR方法等の改善を実施し、来館者が増加するよう改善を図る必要があるため。	要改善	見直し (改善)
220	市史発刊事業(市史編さん事業)	文化財課	歴史的資料の収集・保存により、本市の歴史的変遷を系統的な調査・研究により解明し、市史として後世に永く残すとともに、市民の郷土に対する愛郷心の高揚を図り、市の文化発展の向上に寄与した。	市史発行部数  1,500冊	5,355	4	4	3	3	3	17	早期に発刊できる手法等の検討は必要であるが、本市の歴史を正確に記述することは、本市の将来のために必要であり、また市民に市の歴史を正確迅速に提供するためにも、継続して実施する必要があるため。	現行どおり	継続